

乙訓平和委員会ニュース

発行年月日 2024年1月25日 No.468 発行・乙訓平和委員会 編集責任者・米重節男
電話・FAX 075-932-3546 MAIL heiwaotokuni@gmail.com

心痛む能登半島地震 軍拡よりも万博よりも一刻も早い支援を

向日市 中野猪艶

新しい年を迎えました。皆さんにはお元気で良い年をお迎えのことでしょうか。新年早々の能登半島の大地震には、大変な驚きと心配をしています。心痛むところです。

被災状況の報道を聞きながら、私が一番に心配したのは、車が行けなくなった地区の方たちのことです。

①自衛隊は災害時に救援活動するというのですが、動きが遅いように思えます。道路が寸断して不通だというこんな時こそ、自衛隊の大型ヘリコプターを出せば良いのにと、思ひ、なかなかヘリコプターが出ないことに心がつぶれそうでした。

②今こそ自衛隊の出番でしょと想いながら、ドローンでも何か考えて、一刻も早い救援ができないのかとどんなに思ったことか。もう少し早く被災者の所に行けたら、助かる人も居るはずです。

③岸田政権の鈍い動きには、イライラした思えばかりが募ります。

④やっとの思いで避難所にたどり着いても、水が出ない、トイレが足りず使えない、暖房もなく寒い、一日おにぎり1個との報道も。

日本の政府は、本当にどうなっているのヨ！あまりにひどすぎます。岸田首相も一日でも避難所で暮らしたら、その大変さがわかると思います。

日本国民を守るのが、岸田さんの仕事やろ…とテレビに向かって怒っていた正月です。

この際、軍事費は削って被災者の支援と被災地の早い復興を、と願います。こんな時だから大阪の万博はやめて、そこに投入している人や資材などは被災地に優先してほしい。お金も地震からの復旧にまわすことです。そして、何よりもアメリカから買おうとしている兵器・武器はやめて、一日も早く日本人のために、日本のお金を使ってほしい！沖縄の辺野古の新基地建設はやめて、能登の一日も早い復興を願うばかりです。

(2ページに別記事)

自衛隊桂駐屯地が「重要土地等調査法」で指定候補に！

政府の「敵基地攻撃」方針で、「重要土地等調査法」が作られ、特別注視区域と注視区域の指定が進められています。今回4回目の指定で、対象区域の候補地が京都府内11自治体となっています。自衛隊桂駐屯地も注視区域候補です。土地利用規制法とも呼ばれ、指定されると周辺1km以内の範囲は監視区です。向日市の一部も指定範囲になります。しっかりと声をあげて、指定させない取り組みが必要です。

「猫から学んだ自己流体操！」

今年もよろしくお願ひします。24年が開けました。

正月、私は家で読書をしていました。良かった本がありました。

『体温を上げる料理教室』（若杉友子・著、致知出版社、2011.08.31初版）です。

3回メモを取りながら読みました。陰陽の立場から、食べ物・料理について書かれてありました。簡単に書きますと、陰が体を冷やす、陽が体を温める、です。食べ物ではどちらが良いとかではなく、取り合わせが大事なんです。しかし自分の体自体は「陽」（温めて）にしていきたいよね！というテーマで書かれてありました。やはり体はほかほかしている方が良いでしょう！

私はこれまで不思議に思っていたことがあります。我が家の猫は休む時に、指をグーの形にして丸めて隠します。体も丸くなって、縮むように寝ています。どちらの猫ともです。なぜかな？とっていました。

陰陽の立場で見ると、陰は緩む・広がる、陽は縮む・引き締める、です。単純に考えると、猫は寝る時は、陽つまり体を温める方向で寝ているわけです。

実際に、試してみました。普通ストレッチの場合、私は伸ばす方を中心にしていましたが、今回は縮むことに意識をして行なってみました。結果、今までより温かくなった気がしました。

寝る前、寝起きもこれに、呼吸も混ぜて行なってみました。この本によると、息を吐くのは「陰」、吸うのは「陽」です。ですので、息を吐いて体を伸ばした後、今度は息を吸いながら全身を縮こませていくわけです。結構、いい体操になります。

我が家の
アイドルたち



余談ですが、美容はひょっとして微陽（少し温める）から、美人は微陰（少し冷やす）から来ているのか？なんて勝手な想像（解釈）をしました。見当違いかもしれませんが。では、今年もよろしくお願ひします！

(24.01.08)

京都市長選挙です 2月4日投票日

京都市は自衛隊に、就職適齢者の住所氏名を全国に先駆けて宛名シールにして提出しています。多くの自治体では、自衛隊が名簿を閲覧して情報を得ています。奈良市では、対象になった青年が裁判で訴えています。

京都平和委員会が推薦する弁護士¹の市長候補者は、京都市民の人権を守る立場から、宛名シール提供に当初から反対して、個人情報保護の観点から中止すると政策に掲げています。お知り合いの京都市民にぜひとも知らせ、人権を守る市長実現を呼びかけて下さい。弁護士の京都市長実現で、岸田政権による敵基地攻撃の大軍拡・大增税に地方からNOの声を示しましょう。